



大図研関西 3 地域グループ合同例会のご案内

これからの大学図書館システムを語る

～国内初、慶応義塾大学と早稲田大学の 2020 年図書館システム共同運用の背景～

現在、大学図書館システムは 2020NACSIS-CAT/ILL との関係や電子ジャーナル等に代表される電子コンテンツ管理の課題もあれば、既存国内ベンダーの図書館システムとは明らかに違う ProQuest (ExLibris) の Alma や EBSCO の FOLIO など海外では次世代の図書館システムの動きなどがあり、この先をどう読み取るかが重要になってきています。

そうした中で、2017 年 5 月 12 日慶応義塾大学三田キャンパスにおいて慶応義塾大学メディアセンターと早稲田大学図書館による図書館システムの共同運用に向けた覚書が締結されました。

いったい何を考え、何に狙いを定めて 2020 年の大学図書館システムを構築しようとしているのか？そして、その先をどう描いているのか？

慶応義塾大学メディアセンターの入江氏が考える次期大学図書館システムの姿についてたっぷり語ってまいります。

日 時：2018 年 3 月 10 日 (土) 13:30-17:00 (13:15 開場)

会 場：京都市国際交流会館 第 1・2 会議室

<http://www.kcif.or.jp/HP/access/jp/index.html>

講 師：入江 伸 氏 (慶応義塾大学メディアセンター)

参加費：会員無料 非会員 500 円

申込方法：3 月 3 日 (土) 17:00 までに、以下の Web ページからお申し込みください。

<https://www.daitoken.com/kyoto/event/20180310.html>

その他：終了後、懇親会を予定しています (実費負担)

[目 次]

| | | |
|--------------------------------------|-----------|-----|
| 大図研関西 3 地域グループ合同例会のご案内 | … | 1 |
| 大学図書館問題研究会京都地域グループ第 40 回京都地域グループ総会議案 | … | 2 |
| | 第 1 号議案 | … 2 |
| | 第 2 号議案 | … 7 |
| | 第 3 号議案 | … 9 |
| | 議事メモ・補足事項 | … 9 |
| 会費納入のお願い | … | 10 |

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：kyoto@daitoken.com (大学図書館問題研究会京都地域グループ)

URL：<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

大図研京都地域グループ会員の皆様へ

地域グループ総会を下記の要領で開催しました。

記

日時：平成 29 年 10 月 26 日（木）

総会：19:00～20:00

会場：綴（京都市下京区 烏丸 通松原上ル東側因幡堂町 728）

<http://tabelog.com/kyoto/A2601/A260201/26003488/>

本号に、当日議決されました、以下の議案と当日の議事メモ・補足事項を掲載しておりますのでご覧ください。

【第 1 号議案】

2016 年度（2016.7～2017.6）活動総括及び 2017 年度（2017.7～2018.6）活動方針

【第 2 号議案】

2016 年度決算案（2016.7～2017.6）及び 2017 年度予算案（2017.7～2018.6）

【第 3 号議案】

2017 年度大学図書館問題研究会京都地域グループ役員

大学図書館問題研究会京都地域グループ 第 40 回京都地域グループ総会議案

【第 1 号議案】

2016 年度（2016.7～2017.6）活動総括及び 2017 年度（2017.7～2018.6）活動方針

1. 2016 年度活動総括

(1) 研究交流活動

2016 年度は 3 企画を実施した。

1) RFID 最新動向を学び、立命館大学平井嘉一郎記念図書館を見学

開催日時：2016 年 7 月 30 日(土)13:00-17:00

会場：立命館大学 平井嘉一郎記念図書館

共催：立命館大学図書館研究会

参加費：無料

参加者：31 名

参加者の声：

- ・担当された方の生の声が伺えてとてもありがたく存じます
- ・カシダスゲートについて聞き、便利さを改めて実感した。図書館をより利用したいと思えます。
- ・とても良かったです。特に学生目線でのツアーは目線や実情を聞いてよかったです。
- ・最新施設の図書館をゆっくり見学でき、またコンセプトや今後の展望について聞いてよかったです。

2) 今話題の「岡山県の図書館・博物館」見学ツアー

開催日時：2016年11月12日(土)～13日(日)

見学先：岡山県立図書館、岡山大学附属図書館、岡山シティミュージアム、
備前おさふね刀剣の里(備前長船刀剣博物館)、瀬戸内市民図書館 もみわ広場

主催：大学図書館問題研究会 大阪地域グループ、京都地域グループ、東海地域グループ

参加費：無料(現地集合：交通費等が各自負担願います)

参加者：12名

3) 体験! 「問題解決型ファシリテーター入門」

開催日時：2016年12月11日(日) 13:00-17:00

会場：キャンパスプラザ京都 6階第1講習室

講師：北村志麻 氏(図書館パートナーズ代表)

参加費：大図研会員は無料(会員は500円)

参加者：19名

参加者の声：

- ・色々気付く事がありました。ヒントを得て行動していける第一歩になったかと思えます。
- ・継続してファシリテーションを学んでいこうと思えました。学生との協働にも活用できそうです。
- ・グループワークが少し大変そうだったが、充実して取り組むことが出来ました
- ・一過性で終わらせずに取り組んでいきたいと思えます
- ・また折を見て業務でアイデアだしが必要な時に今回のメソッドを活用したいと思えます。
- ・面白かったです。タイミングがあれば講座を受けたいです。
- ・今後の業務に役立ちそうなお話でありがたかったです。

(2) 支部報

2016年度刊行分につきましては、発行期日の遅れが生じた号もありましたが、計画的発行に努めました。イベントを開催するたびに、参加者に参加報告の執筆を依頼し、京都地域グループの活動を会員の皆さんに知ってもらえるよう努めました。

2016年度発行した支部報の目次は、次のとおりです。

1) 支部報 No.313 (2016/08/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第39回京都地域グループ総会を開催いたしました
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第39回京都地域グループ総会議案
- ・第1号議案
- ・第2号議案
- ・第3号議案
- ・議事メモ・補足事項
- ・会費納入のお願い

2) 支部報 No.314 (2016/10/15 発行)

- ・大図研京都ワンディセミナーのご案内
- ・小特集：大図研京都ワンディセミナー「つながる図書館・ささえあう図書館－公共図書館から見た大学図書館の世界」参加報告
- ・大学図書館と公共図書館－互いに学び高め合う関係(谷口 由佳)
- ・大学と公共、お互いに学び合える(是住 久美子)
- ・小特集：大図研オープンカレッジ「大学図書館の最新トピック学びなおし」参加報告
- ・「障害者差別解消法の大学における対応のポイント」を学んで(河野 由香里)
- ・井村邦博氏「成果物のメタデータ定義と名寄せの状況」の講演について(大西 賢人)
- ・オープンカレッジ「佛教大学図書館における Summon2.0 と図書館ポータルサイト BIRD」参加報告(西菌 由依)
- ・会費納入のお願い

3) 支部報 No.315 (2016/12/15 発行)

- ・大図研関西 3 地域グループ合同例会のご案内
- ・第 48 回全国大会 (京都大会) のご案内(赤澤 久弥)
- ・グループ委員挨拶
- ・会費納入のお願い

4) 支部報 No.316 (2017/02/15 発行)

- ・大図研関西 3 地域グループ合同例会 終了しました
- ・小特集：大学図書館問題研究会 大阪地域グループ、京都地域グループ、東海地域グループ共同開催「今話題の「岡山県の図書館・博物館」見学ツアー」参加報告
- ・瀬戸内市民図書館を見学して(藤野 まゆみ)
- ・オリーブが育つ庭 — 瀬戸内市民図書館をたずねて(藤本 由佳子)
- ・会費納入のお願い

5) 支部報 No.317 (2017/04/15 発行)

- ・祝！大図研 全国大会@京都 プレ企画のご案内 「暑い京都をビールで乾杯」
- ・小特集：大図研京都ワンディセミナー「体験！「問題解決型ファシリテーター入門」」参加報告
- ・大図研京都ワンディセミナー参加報告「体験！「問題解決型ファシリテーター入門」(楠見 牧子)
- ・大図研京都ワンディセミナー『体験！「問題解決型ファシリテーター入門」』参加報告(若松 克尚)
- ・会費納入のお願い

6) 支部報 No.318 (2017/06/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 40 回京都地域グループ総会のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 40 回京都地域グループ総会議案
- ・秋の花背リゾート 森林散策と BBQ のご案内

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトでは、イベントのお知らせや、グループ委員会の報告等、グループ活動の記録を定期的かつ迅速に掲載しています。2011 年度に開始した支部報電子版は創

刊号から最新号まで、一部許諾の得られなかった記事を除き、全て掲載しています。

メールマガジンは、「大図研京都支部 NewsLetter」として、no.221 (2016年7月11日) から no.238 (2017年6月30日) を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を月1回に配信していますが、昨年に引き続きその月に締切日があるイベント情報の掲載も継続しています。

さらに Twitter の活用を図り、693 アカウントのフォロワーを得ています。忘年会やワンディセミナーの告知、セミナー内容のツイートやそのまとめ作成、支部報発行の広報を行いました。

(4) 組織活動

69名の支部会員の皆様に支えていただき活動しました。

2016年度当初よりも5名減少しました。都合、退職、卒業等による退会者が7名であった一方で、新規入会者は2名でした。

ワンディセミナーや図書館ツアーは多くの非会員に対して大図研や京都地域の活動をアピールする場でもあり、会員獲得に努めました。

(5) 財務

今年度、本部会費徴収担当に2名参加し、地域グループから本部一括徴収への会費徴収方法の移行を進めました。

地域グループ移行により支部還元金が無くなる等地域グループの財務基盤が脆弱化いたしました。来年度に課題を残しました。

(6) 広報とデザイン

大図研京都ワンディセミナー「体験！『問題解決型ファシリテーター入門』」のポスターを作成しました。

図書館見学会や大図研全国大会プレ企画など、ポスターを作成できなかった企画もありましたが Web サイトを有効活用し、広報・周知に努めました。

2. 2017年度活動方針

(1) 研究交流活動

- ・会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。
- ・会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。
- ・勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年4回程度は開催できるようにします。

(2) 支部報

定期発行と正確で読みやすい誌面の作成とともに、広く寄稿を求めかつ連載記事を企画することにより、コンテンツの一層の充実にも努めます。今後も、会員に「発表の場を提供する」という目標のもと、会員間での情報共有が進むためのきっかけを提供するこ

とを目指し、引き続き努力していきます。

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトを随時更新することで、京都地域グループが主催・共催する種々の活動情報や電子化された支部報記事を迅速に提供します。その他のコンテンツの拡充についても継続して検討していきます。

また、メーリングリスト"ゆりかもめ"について、定期配信のメールマガジンについて、より読まれるような内容にする工夫を継続するとともに、配信のタイミングについて検討していきます。同時に、その目的である"会員相互の親睦と交流を盛んにすること"の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

さらに、広報活動の一環として **Twitter** アカウントの積極的活用を継続します。

(4) 組織活動

全国大会やワンディセミナー、各種イベント、支部報、ホームページ、メールマガジン、SNS 等を通じ、京都地域の持つ魅力を認識し、高め、入会者が大図研京都地域グループに在籍していることにより一層価値を見いだせるような活動を行います。

(5) 財務

今後も活発な研究企画実施のため、研究企画費を計上しますが、同時にグループ会員の会費の前納を勧めること、グループ助成金の増額を目指すこと、経費節減や見直しが必要になります。

(6) 広報とデザイン

ワンディセミナーやその他交流会等において、引き続きポスター・チラシ作成等の広報活動に努めます。また、特定の委員に業務が集中しないよう体制の見直しを検討し、さらに効果的な広報を目指します。

【第2号議案】

2016年度決算案 (2016.7~2017.6)

(単位:円)

| | | |
|---------|---------|---------|
| 総収入 | 総支出 | 差引残高 |
| 323,219 | 146,230 | 176,989 |

■収入の部

(単位:円)

| 項目 | 予算 | 決算 | 差引額 | 備考 |
|--------------------|---------|---------|----------|-----------|
| 前年度繰越金 | 183,659 | 183,659 | 0 | |
| 2016年度 地域グループ会費 | 138,000 | 94,000 | -44,000 | 47名×2000円 |
| 未納会費 | 63,000 | 7,000 | -56,000 | 1名 |
| 地域グループ助成金 | 15,000 | 15,000 | 0 | |
| セミナー参加費 | 20,000 | 1,500 | -18,500 | |
| 大図研出版物支部 卸頒布 | 10,000 | 15,600 | 5,600 | |
| 寄附金 | 0 | 6,460 | 6,460 | |
| 合計 | 429,659 | 323,219 | -106,440 | |

※未納会費(地域グループ移行前9名分)

■支出の部

(単位:円)

| 項目 | 予算 | 決算 | 差引額 | 備考 |
|------------------|---------|---------|---------|--------------------------------------|
| 会報 | 60,000 | 42,144 | 17,856 | 印刷費 12,526円/送料 29,618円 |
| 研究交流会費 | 250,000 | 64,841 | 185,159 | |
| 大図研出版物支部 卸購入 | 6,000 | 6,080 | -80 | |
| 事務費 | 20,000 | 5,805 | 14,195 | |
| 地域グループ委員会 活動費 | 10,500 | 12,360 | -1,860 | 地域グループ運営委員会会 場費、地域グループ委員交 通費補助 |
| HP維持費 | 6000 | 3,000 | 3,000 | 2015/2016年度 |
| 特別事業費 | 20,000 | 12,000 | 8,000 | 図書カード、学生会員割引 |
| 予備費 | 57,159 | 0 | 57,159 | |
| 合計 | 429,659 | 146,230 | 283,429 | |

2016年度大学図書館問題研究会京都地域グループ会計監査報告

帳簿および現金は適正に保管・記載されていた。

2017年10月26日

上山卓也 (印)

辰野直子 (印)

2017 年度予算案 (2017.7~2018.6)

□収入の部

(単位:円)

| 項目 | 予算 | 備考 |
|-----------------|---------|------------------------------------|
| 前年度繰越金 | 176,989 | |
| 2017 年度地域グループ会費 | 128,000 | 64 名 × 2,000 円 |
| 未納会費 | 110,000 | 2016 年未納会費 44,000 円+移行前会費 56,000 円 |
| 地域グループ活動費 | 15,000 | |
| セミナー参加費 | 20,000 | |
| 大図研出版物支部卸頒布 | 10,000 | |
| 合計 | 459,989 | |

□支出の部

(単位:円)

| 項目 | 支出 | 備考 |
|----------------|---------|----------------------------|
| 会報 | 60,000 | 印刷費(20,000 円)/送料(40,000 円) |
| 研究交流会費 | 250,000 | |
| 大図研出版物支部卸購入 | 6,000 | 5 冊 × 2 種類(@600 円) |
| 事務費 | 10,000 | |
| 地域グループ運営委員会活動費 | 10,500 | 2100 円 × 5 回 |
| 特別事業費 | 20,000 | |
| 予備費 | 103,489 | |
| 合計 | 459,989 | |

決算

- ※活発にセミナーを行いました。参加費無料の企画が多く、収入は少なくなりましたが、支出も抑えられました。
- ※地域グループ運営委員会の会場費として地域グループ委員会活動費を使用しました。また遠隔地地域グループ委員に交通費補助として使用しました。
- ※新グループ会員増のため、特別事業費を利用し、学生会員に図書カード送付、学生会員割引を行いました。
- ※事務費の内訳は主に事務用品と振込手数料です。
- ※地域グループ会費について 2016 年 12 月以降分が来年度 8 月頃に振り込まれるため、予算より決算が大幅に少なくなりました。
- ※未納会費の納入が進みませんでした。

予算

- ※地域グループ助成金につきまして、大学図書館問題研究会の名称変更にあわせ、地域グループ活動費と費目を変更します。
- ※地域グループ委員会活動費を京都地域グループ運営委員会名称にあわせ、地域グループ運営委員会活動費と費目を変更します。
- ※来年度も活発な研究会を行うため今年度どおりを研究交流会費として計上します。
- ※来年度も会員増のため特別事業費を設定しています。
- ※振込手数料が減少したため、事務費を減額します。
- ※地域グループ運営委員会の会場費として継続して地域グループ運営委員会活動費を計上します。
- ※HP 維持費は不要となる見込みですので計上いたしません。

【第3号議案】

2017年度大学図書館問題研究会京都地域グループ役員

グループ委員 (50音順)

安東 正玄 (立命館大学法学部事務室)
内田 栞 (京都大学附属図書館)
坂本 拓 (京都大学附属図書館)
寺升 夕希 (滋賀医科大学附属図書館)
長坂 和茂 (京都大学附属図書館)
野間口 真裕 (京都大学北部構内事務部)
原 健治 (同志社大学文学部・文学研究科事務室)
鷺津 彩乃 (名古屋大学附属図書館)
山形 知実 (北海道大学附属図書館)
山上 朋宏 (京都大学経済学部図書室)
山下 ユミ (京都府立医科大学附属図書館)

監査委員

金森 悠一 (京都教育大学附属図書館)

全国委員

内田 栞 (京都大学附属図書館)

特別グループ委員

赤澤 久弥 (京都大学附属図書館)
渡邊 伸彦 (国際日本文化研究センター)

<大学図書館問題研究会第38回京都地域グループ総会 議事メモ・補足事項>

参加者：13名

会員の皆様にグループ総会当日の様子を知って頂くために、簡単に当日の様子をお知らせします。

各担当より、第1号議案について説明があり、原案のとおり了承されました。
会員から連絡があったものを含め、以下の意見がありました。

- ・第1号議案の1. 2016年度活動総括(1) 研究交流活動に関して、参加者の総数は記載されているが、非会員の内訳もあった方が良いと思われる。

- ・第1号議案の1. 2016年度活動総括(4)組織活動に関して、「2017年度当初よりも」という文言は「2016年度当初よりも」の間違いである。

野間口グループ副代表(当時)から、第2号議案について説明があり、了承されました。

- ・2017年度予算の「収入の部」に関して、セミナー参加費がやや多く見積もられているのではないか。
- ・(上記質問への回答として)年間とおして40名の非会員の参加があれば実現できる数字であり、非現実的なものではない。

グループ委員、監査委員、全国委員については、第3号議案のとおり選出されました。

- ・「特別支部委員」の表記は「特別グループ委員」の誤りである。
- ・2017年度から監査委員が1名になっているが、支部規約上、これは問題無い。
- ・今年度「京都地域グループ委員会」という名称が使われていたが、年度当初に「京都地域グループ運営委員会」と称することになったのではなかったか？
- ・(上記質問への回答として)2017年度は、「京都地域グループ運営委員会」と称することとする。

◇ 会費納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館問題研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館問題研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

また、地域グループ(従来支部)に所蔵される方は、地域グループ費と合わせてご納入いただくことになっています。

会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)です。

【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 **■金融機関コード** 9900 **■店番** 019
■預金種目 当座 **■店名** 〇一九(ゼロイチキュー店) **■口座番号** 0079769

ご不明な点は大学図書館問題研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)まで。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。